



Japan Translation Federation

# 日本翻訳ジャーナル

社団法人日本翻訳連盟機関誌

2004年9月/10月号

## - 目次 -

### Report

- 日本発世界へ！ ..... 1  
 翻訳祭に参加しましょう！ ..... 2

### Honrenso

- No.92 ..... 3  
 No.93 ..... 4

### Information

- JTF 翻訳環境研究会報告 ..... 6  
 JTF 西日本セミナー報告 ..... 7  
 翻訳支援ツール委員会報告 ..... 8  
 愛知万博 法人会員のご賛同と  
 ご協力をお願い ..... 9  
 移動が大変 ロシアでひとり ..... 10  
 ローカライズとチームワーク ..... 12  
 Books & Tools ..... 13  
 法人会員プロフィール ..... 14  
 個人会員プロフィール ..... 15  
 JTF ニューフェイス ..... 16  
 理事会だより ..... 16

社団法人日本翻訳連盟

〒104-0032

東京都中央区八丁堀 2-8-1 牧野ビル 3F

TEL 03-3555-6365

FAX 03-3552-1784

発行人 勝田 美保子 (会長)

編集人 野上 眞生

印刷 創栄印刷工業株式会社

E-mail info@jtf.jp

URL http://www.jtf.jp/

## 日本発世界へ！ 第14回翻訳祭 10月7日開催

翻訳祭企画運営委員 株式会社アメリカ・ネットワーク開発本部法人担当チーフ 長田 裕之

翻訳業界は日本の景気を回復させるためにどのような取り組みをすれば良いのか？ 翻訳業界の存続と発展を考えたときに翻訳祭の位置づけはどうあるべきなのか？ 翻訳になじみのない人たちがこれから翻訳に携わろうとしている人たちに対して広く翻訳について伝えていくためには何をすれば良いのか？

第14回の翻訳祭ではこれらの答えを探し出すための機会にしたいと考え、我々が取り組むべき課題を集約させた企画を立案して準備を行った。そしてテーマを「日本発世界へ！ ～海外への情報伝達が日本経済の鍵～」として、日本の文化や技術を海外に伝えるための翻訳について取り上げることとした。

日本経済は長期にわたる未曾有のデフレ不況の中にあっただが、ここにきてようやく閉塞感を打破して景気回復へと向かう明るい兆しが見えてくるようになってきた。その特徴のひとつとして、アニメなどに代表される日本の大衆文化が盛んに海外へ伝えられるようになったことや、デジタル家電をはじめとした日本の高度な技術の輸出の勢いが加速していることが挙げられる。このような活動の中に翻訳は不可欠であるため、今回は日本から文化や技術を海外へと伝えるための翻訳の現状理解を行い、あわせて翻訳の明るい未来を考える機会にできればと思う。

基調講演をお願いしたグレッグ・アーウィン氏はアメリカ合衆国生まれで、日本の童謡に感銘を受けたのをきっかけに自ら歌詞の翻訳を手がけて歌っている。英語を母国語とする人が日本語の歌を英訳して海外へ伝えることは非常に斬新な取り組みであり、従来とは異なる視点で翻訳について考えるきっかけをつかむための公演となるだろう。同氏はテレビ出演等でも活躍しており知名度があることから、翻訳業界以外の人たちや翻訳を学習中の人たちにも興味を持って足を運んでいただけるものとなることを期待できる。

キヤノン株式会社でナレッジマネジメント

システムの研究開発に携わる畠中伸敏氏には製品の世界同時発売を行うために翻訳業務をどのように革新したのかについてご講演いただき。ビジネスを世界展開する上で言葉の障壁を克服することは非常に重要となるが、これを実践した方法を知る非常に貴重な機会となるだろう。

かつては「欧米に追いつけ追い越せ」と海外から優れた文化や技術を輸入してきた日本であるが、現在では欧米に対して自信を持って輸出することができる水準にまで成長したものを数多く持っている。またその独自性が欧米から高く評価されることもあり、日本から情報を海外へ発信する必然性も高まってきている。これに伴い翻訳業界では外国語和訳だけでなく、日本語を外国語へと翻訳をして日本の優れた文化や技術を海外へと伝えていくことがますます重要になり、すぐれた外国語訳を行えるかどうかは日本の今後を占う上での生命線となるだろう。

海外の情報を日本語に翻訳することについて考える機会も大切にしたいと思い、今回のパネルディスカッションでは翻訳者・翻訳会社・ソースクライアントという異なる立場からパネラーを招き、日本語への翻訳の現状に関してそれぞれの本音を話し合う「トークバトル」を行う。この3者がお互いに理解と協力をしてはじめて最高の翻訳が完成するにもかかわらず、一堂に会する機会は稀有なため非常に貴重である。今回の「相互理解」の場を通して翻訳業界全体のレベルアップを図られることを願いたい。

今回の翻訳祭はこれからの翻訳業界を考える上で非常に重要な機会となるだろう。翻訳業界の歴史の転換点となると言っても過言ではない。是非当日会場に足を運んで皆様にも「歴史の証人」になっていただきたい。

## 10月7日(木)は翻訳祭に参加しましょう!

テーマは「日本発世界へ!」~海外への情報伝達が日本経済浮上の鍵~

第14回翻訳祭は東京・八丁堀のマツダホールで開催されます。「日本発世界へ! ~海外への情報伝達が日本経済浮上の鍵~」というテーマの下、日本翻訳連盟最大のイベントに相応しい非常に内容の充実した公演・パネルディスカッションや展示が行われます。是非参加して実りある1日をお過ごしください。

## 公演

公演1 (13:10 ~ 14:10)

「日本発・心を癒す贈り物」

グレッグ・アーウィン氏

アメリカ合衆国ウィスコンシン州オークレア生まれのシンガー・ソングライターです。友人から日本の童謡の翻訳依頼を受けたのをきっかけに100曲以上の英訳を手がけ、曲に込められた「日本の心」に心を打たれて以来、歌詞を自らの視点で英訳し日本各地でコンサート等の活動を行う他、声優・ラジオDJ・司会者など幅広く活動を行っているとのこと。今回は歌詞の翻訳を手がけて思ったことをはじめ、日本の童謡を英語にして歌うことについての講演を行い、最後に一曲ご披露いただく予定です。

公演2 (14:20 ~ 15:20)

「世界同時発スピード経営」

畠中 伸敏氏 (キヤノン株式会社)

1977年にキヤノン株式会社に入社して以来、情報通信システムと人工知能関係の研究及び開発に携わり、1986年ソフトウェア評価研究室室長、1991年知識工学課課長を経て、K/Mシステム課長として現在ご活躍中です。キヤノンの中における機械翻訳システムの導入と構築を早くより行ない、業務改善の実績を上げていらっしゃいます。近年は営業やサービスなどの活動により蓄えられた大規

模文書データからの知識発見の方法の研究と開発に従事しているとのこと。今回は翻訳業務の革新の結果、製品の世界同時発売を可能にしたその手腕と舞台裏についてご講演いただきます。

パネルディスカッション(16:00~17:50)

「The Translation Trinity ~翻訳の頂上決戦本音でトークバトル~」

翻訳の「品質」「価格」「納期」という3つの要素との戦いに挑む「翻訳者」「翻訳会社」「ソースクライアント」の3者が、それぞれの立場から本音をぶつけあう白熱のトークバトルを展開します。さらに会場の参加者の皆様にもご参加いただき翻訳の「読者」としての立場からの意見を加えて最高の翻訳とは何かを考えその答えを追及するための機会とします。

&lt; 翻訳者 &gt;

井口 耕二氏 (実務・技術翻訳者、社団法人日本翻訳連盟理事)

森口 理恵氏 (医学・薬学翻訳者、社団法人日本翻訳連盟会員)

&lt; 翻訳会社 &gt;

阿部 淳一氏 (株式会社エイプス代表取締役)

近藤 哲史氏 (伝株式会社取締役)

&lt; ソースクライアント &gt;

石田 育秀氏 (株式会社日本総合研究所研究事業本部新規事業戦略クラスター長)

原田 節雄氏 (ソニー株式会社スタンダード戦略グループダイレクター)

&lt; コーディネーター &gt;

林 秀敏氏 (株式会社フェロー・ネットワーク代表取締役、社団法人日本翻訳連盟副会長)

翻訳プラザ (12:00 ~ 17:00)

今回は合計18社様からの出展がございま

す。公演とパネルディスカッションの間に40分の休憩時間がございますので、ゆっくりご覧いただくことができるようになりました。

展示・デモコーナー

翻訳ソフトや翻訳支援ツール、辞書等の展示とデモがございます。

株式会社アクティブポイント

アルテックエーディーエス株式会社

株式会社インターメディア

エス・ディー・エル・ジャパン株式会社

株式会社クロスランゲージ

株式会社シュタールジャパン

東芝ソリューション株式会社

トラドス・ジャパン株式会社

日外アソシエーツ株式会社

富士通ミドルウェア株式会社

ロゴヴィスタ株式会社

書籍・翻訳相談コーナー

翻訳者の募集情報を入手することやお仕事に関するご相談をお寄せいただけます。

株式会社アメリカ・ネットワーク

株式会社アルク

株式会社サン・フレア

株式会社知財翻訳研究所

株式会社十印

株式会社日本経済新聞社

株式会社翻訳センター

交流パーティー (18:00 ~ 19:30)

翻訳者と翻訳会社との交流はもちろん、翻訳者同士や企業同士など、様々な立場の人との交流ができる絶好の機会です。今回は4,950円で参加できます。是非お越しになって人脈を広げてください。



**ALVIS**  
GLOBAL COMMUNICATORS

**株式会社アルビス**  
http://www.alvis.co.jp

**募集**

- 企画営業
- チェッカー
- 翻訳コーディネーター
- フリーランス翻訳者(英・中・韓 他)  
特に半導体、センサー等の精密機器等

履歴書・職務経歴書送付 (e-mail) 可 翻訳者のみトライアル有

**大阪オフィス**  
〒550-0011 大阪市西区阿波座1-13-15  
クリエビル8F  
Tel.06-6532-2367 Fax.06-6532-2369  
trans@alvis.co.jp

**東京オフィス**  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-32-22  
大塚東池袋ビルディング7F  
Tel.03-5960-0583 Fax.03-5960-0587

社団法人 日本翻訳連盟会員

## ロイヤルリサーチ株式会社

代表取締役 河村 敏

〒173-0012 東京都板橋区大和町 10-11-1003

電話: 03(3964)5141 Fax: 03(3964)5071

E-mail: HDC00641@nifty.com

# ほんれんそう No.92

翻訳とは何か 翻訳における等価性(5) 高崎 栄一郎

## 翻訳単位と最適翻訳(続き)

翻訳単位 (unit of translation) とは、原文の意味内容と翻訳文の意味内容が一致する最小の単位です。翻訳単位より低いレベルでは、原文と翻訳文のそれぞれの構成要素に意味の違いがあることが許されますが、翻訳単位のレベルでは、全体として意味内容が一致している、すなわち等価が成立しています。

## 句(節)レベル

原文の品詞と翻訳文の品詞を一致させると、不自然な翻訳文になる場合が多いことは、誰も経験しています。次はOHP用の英語ですが、英語の名詞は日本語でも名詞、英語の形容詞は日本語でも形容詞として訳そうとすると、自然な日本語にはなりません。

## Benefit of Systematic Problem Solving

- Reduced cost of trial and error
- Maximized results
- Reduced problem backlog
- Personal satisfaction
- Improved communication

機械翻訳を使って翻訳してみます。この機械翻訳ソフトは、タイトルを翻訳してくれませんでした。

- \* 試行錯誤の減らされたコスト
- \* 最大にされた結果
- \* 減らされた未処理の問題
- \* 個人の満足
- \* 改善されたコミュニケーション

これらを自然な日本語にするためのアプローチのひとつは、英語の形容詞は日本語でも形容詞という固定観念をやめて、**品詞を変換**することです。さらに、英語では句であるけれど、日本語では文にすることも考えるべきです。以下は筆者の案です。

## 組織的な問題解決の利点

- \* 試行錯誤のコストが削減できる
- \* 最大の結果が得られる
- \* 未解決の問題が少なくなる
- \* 個人の満足が得られる
- \* コミュニケーションが良くなる

## 文レベル

翻訳者は、原文の文(センテンス)を理解して、これに対応する翻訳文を生み出そうとします。文(センテンス)以下の節、句、単語のレベルでの対応または等価には、必ずしもこだわりません。以下は筆者が時折メモしておいた実例のいくつかです。

## (1) 修飾語の順序の入れ替え

自然な訳文とするためには、単語の並べ替えも必要です。修飾語について言うと、一般的に日本語では修飾語を長いものから短いものの順で並べますが、英語は逆に短いものから長いものへ並べる傾向があ

ります。

<原文> It is not easy to identify a gap between the current situation and the real needs for the future.

<不適訳> 現状と将来への真のニーズとのギャップを明らかにするのは容易ではない。

<適訳> 将来への真のニーズと現状とのギャップを明らかにするのは容易ではない。

## (2) 修飾語と被修飾語の変換

原文の修飾語と非修飾語を、訳文では思い切って逆転するほうが良い場合があります。

<原文> the trend towards customized products

<不適訳> カスタマイズされた製品への傾向

<適訳> 製品のカスタマイズ化の傾向

## (3) 主語の変換

英語の you は、日本語で「あなた」とは限りません。

<原文> (プレゼンテーションのマニュアル) Your image is your audience's view of you, and it can be very different from your image of yourself.

<適訳> 発表者のイメージとは、出席者が発表者をどのように見るかであり、発表者が持っている自分のイメージとはかなり違うことがあります。

## (4) 節と句の変換

英語では名詞(句)、日本語では節(文)が多用される傾向があります。上の例文の“audience's image of you”は、試訳では「出席者が発表者をどのように見るか」という節にしています。次の例では、「ファイルに整理する」という節を into organized file という句に変えています。

<原文> 関連データすべてを集めてファイルに整理する

<適訳> Collect pertinent data into organized files.

## (5) 重文と複文の変換、主節と従属節(句)の変換

(a)「ケーブルを電源に接続してモータを起動する」と(b)「スイッチを押してモータを起動する」は、同じ構造ですが、内容は違います。(a)はコードを接続する動作だけではモータ起動しません。

<適訳> Connect the cable to the power supply and start up the motor.

(b)は、スイッチを押せばその結果としてモータは起動するので、

<適訳A> Press the switch to start up the motor.

<適訳B> Start up the motor by pressing the switch.

## (6) 英語の無生物主語構文

英語では抽象的な概念を動作主とすることができますが、日本語では人間以外を動作主とすることは例外的です。抽象的な概念を動作主とする構文は、無生物主語構文と言われていています[4]。

<原文> このコマンドをお使いになると、テキストをイタリックまたは2色で印刷することができます。

<適訳> This command allows you to print text in italics or in two colors.

[4] 富井篤『技術翻訳のテクニック』丸善株式会社 1992



# ほんれんそう No.93

誌上勉強会 (39) 医薬翻訳 (第25回) 森口 理恵

今回は、米国医薬品局 (FDA) が発行する消費者向け隔月誌 “FDA Consumer” に掲載された記事を訳して頂きました。力作をお寄せいただいた方々、ありがとうございます。

翻訳に入る前に、この記事をごどのような形式で訳せばよいか、考えてみましょう。この記事が含まれるページ “Updates” では、FDA が最近に行った新薬の承認や措置についての短いニュースが数本掲載されています。短い製品情報のコーナーといえ、身近なところでは新聞に掲載される新製品情報が思い当たりますが、新聞記事と今回の原文では発信元の立場が違います。新聞の新製品情報は企業のプレスリリースがベースですから、情報の発信元はその製品を売り出す企業です。FDA Consumer は、日本の厚生労働省にあたる政府機関が発行しているのですから、製品を売るための情報ではありません。「当社の新製品を紹介します」という雰囲気にはなりません。コンパクトな表現を使うという点や文体の面は新聞の新製品情報を参考にしながら、発信元が政府機関であることを忘れないように訳す必要があります。

翻訳する前に、Restylane とは何なのか、情報を集めておきましょう。アメリカで承認される製品なら、日本でも何らかの情報があはずです。Google で [ Restylane の ] ( 検索窓にはカギ括弧の中の文字をスペースも含めて入力してください ) をキーワードに検索すれば、この製品に関する日本語の情報を得ることができます。詳しく説明されたサイトをいくつか読んでみましょう。Restylane はバイオ技術で作ったヒアルロン酸で、皮下に注入することでシワを伸ばす製品であること、カタカナでは「レスチレン」と表記されていることなどがわかります。

では、翻訳のポイントをみてみましょう。

タイトル : New Product for Treating Facial Wrinkles

Facial wrinkles は顔の皺のことですが、日本語では皺・しわ・シワと様々な表記が考えられます。どういう表記が使われているのか、[ ヒアルロン酸 治療 シワ ] [ ヒアルロン酸 治療 皺 ] などと検索をかけて件数を探ってみましょう。「シワ」と「しわ」が多く使われ、「皺」の使用件数が少ないことがわかります。

Treating facial wrinkles ですが、こちらも Google で検索すると、

シワ取り / しわ取りの件数のほうがシワ治療 / しわ治療より件数が多いことがわかります。facial ですが、大金を払って伸ばそうとするシワはほぼ顔に限られるせいでしょう (美容の分野では首筋のシワというのも問題になるようですが)、わざわざ「顔のシワ取り」と表記するサイトは少ないようです。これらを踏まえてタイトルは「シワ取り治療用の新製品」などと訳すとよいでしょう。内容は同剤の承認に関するものなので、「シワ取り治療用の新製品を承認」と訳す手もありますね。

訳例 : シワ取り治療用の新製品

第1文 : Restylane (hyaluronic acid), approved by the FDA in December 2003, is the third injectable product available to treat facial wrinkles.

“third” とは皮膚に注入して使うシワ取り剤として FDA が承認した製品としては 3 番目であることを示します。この文章は、“Restylane is third product” が中心にあって、“approved by the FDA in December 2003” は付け足しの情報のような形で書かれています。その通りの構成で和訳してももちろん間違いではないのですが、「レスチレンは 2003 年 12 月に FDA に承認された 3 番目のシワ取り剤である」と訳すと記事としては落ち着きません。日本の新聞では、「イオンは二十日、独自仕様の小型携帯音楽プレーヤーを発売する。音声メモの録音機能や (以下機能の説明)」などのように表記するのが定型のようです。原文の構造とは違いますが、日本の記事にならって訳すほうが読者には親切でしょう。

訳例 : FDA は 2003 年 12 月、レスチレン (ヒアルロン酸) を承認した。同剤は、FDA が承認したシワ治療のため顔に注入して用いる製品としては 3 番目の製品にあたる。

第2文 : Restylane is different than the other approved products in that its effects last longer, about six months.

“other approved products” とは、レスチレンに先行する 2 製品のことで、「先行品」と訳してもよいでしょう。また前文に続けて、「3 番目の製品にあたり、先行品よりも効果が長く続く」と訳すのもよいでしょう。

訳例 : レスチレンは先行品よりも効果が長く続く (約 6ヶ月間

JES 技術翻訳学院

## 特許翻訳特別コース

定員 10 名、1 月・4 月・7 月・10 月の各月スタート  
3ヶ月間で 6 回、隔週水曜日 15:30~17:00 実施

株式会社 ジェスコポレーション

〒220-0004 横浜市西区北幸 2-10-36 リクルートコスモス 8F  
TEL: 045-313-3721 E-Mail: school@jescorp.co.jp  
FAX: 045-314-3765 URL: http://www.jescorp.co.jp/gakuin

## フリーランス翻訳者随時募集

- 翻訳ツールの使える人
- ホワイトペーパー、インターネット
- 証券、金融、法律、IT技術系

グローバル・コラボレータを  
めざして



株式会社アイ・エス・エス 翻訳事業部

〒102-0082  
東京都千代田区一番町23-3日本生命一番町ビル4F  
TEL: 03-3230-2521 FAX: 03-3262-6633  
http://www.issnet.co.jp

有効)。

第3文: Studies showed that Restylane, classified as a medical device by the FDA, is safe and effective for filling moderate-to-severe wrinkles around the nose and mouth.

“classified as a medical device by the FDA”の点に注目しましょう。FDAはRestylaneをdrug(医薬品)ではなくmedical device(医療用具)に分類しています。Restylaneを「薬」と訳してしまうとFDAが医療用具に分類したという内容から外れてしまいますから、訳語選択には注意が必要です。アメリカでのdrugとdeviceの定義については、The Federal Food, Drug and Cosmetic Actを参照してください(<http://www4.law.cornell.edu/uscode/21/321.html>)。日本の薬事法でも定義されているので、参考にしてください([薬事法 医薬品 医療用具 定義]で検索してください)。

“Studies”は、FDAの承認を得るために企業が提出した申請資料に含められていた臨床試験のことを意味しています。

訳例: FDAはレスチレンを医療用具に分類している。この製品の研究では、鼻や口の周りの中等度から重度のシワの治療に安全で有効であることが明らかにされた。

第4文: Most people needed one injection to get optimal correction, while about one-third of people tested needed more than one injection to get a satisfactory result.

この文章は過去形です。このことから、この文章で述べられている内容は、前文の“studies”の結果であることと考えることができます。optimal correctionは、本人が満足するくらいシワが伸びたことを意味しています。

訳例: 多くの場合、1回の注入で十分なシワ治療が行えたが、約3分の1では2回以上の注入を必要とした。

第5-6文: The two other injectable products approved by the FDA are collagen injections for correcting soft tissue deficiencies such as wrinkles and acne scars, and botulinum toxin (Botox Cosmetic) for treating frown lines between the eyebrows. The effects of both treatments last as long as four months.

The two other injectable productsは、Restylaneの前に承認された2種類の製品を意味しています。2種類の製品は、collagen injectionsとbotulinum toxinであることを読み取ってください。soft tissue deficienciesは、ニキビ跡のくぼみや、深いシワなどの、皮下にあ

る軟組織が減っている状態を意味しています。Collagen injectionsを「コラーゲン注射」と訳してしまうと、製品名のように見えません。注射用コラーゲンや注入用コラーゲンなど、製品名らしく訳しましょう。

第6文のboth treatmentsは前文の2製品を用いた治療のことです。訳例では2つの文章を1つにしました。

訳例: レスチレンに先行して承認された製品は、シワやニキビ跡などの軟組織欠損の治療に用いる注入用コラーゲンと、眉間のシワの治療に用いるボツリヌス毒素(ボトックス・コスメティック)の2種類であるが、いずれも効果は4ヶ月間持続する。

第7文: Restylane is manufactured by Q-Med AB of Uppsala, Sweden.

訳例: レスチレンは、ウプサラ(スウェーデン)のQ-Med AB社が製造している。

次回は、米国疾病対策センター(CDC)のウェブサイトにある子ども向けのコンテンツを訳してください。

#### Teens and Tobacco

##### What's Really In?

You're educated, you're smart, and you're aware. You know what's in and you know what's out. But do you know the whole story about what's really in cigarettes? With teen smoking on the rise, the Centers for Disease Control and Prevention, or CDC, needs your help to let students know the real deal about tobacco.

\* Did you know that cigarettes contain formaldehyde—the same stuff used to preserve dead frogs?

\* Did you know that the same cyanide found in rat poison is available in the cigarette smoke nearest you—whether you're a smoker or just hanging around people who smoke?

\* And how about the nicotine in cigarettes? You probably already know that it's addictive, but did you know that it's also a potent insecticide found in bug spray?

[http://www.cdc.gov/tobacco/tips\\_4\\_youth/stand.htm](http://www.cdc.gov/tobacco/tips_4_youth/stand.htm)

翻訳は、10月30日までに森口理恵まで電子メールでお送りください(E-mail: [riye@remus.dti.ne.jp](mailto:riye@remus.dti.ne.jp))。電子メールの件名は『ほんれんそう No.93 訳文』としてください。皆様のご参加をお待ちしております。

## ソフトウェア関連ドキュメントの

### 翻訳 翻訳者派遣

ソフトウェア分野の翻訳に特化しております

- ・ TRADOS翻訳が100%です
- ・ 英文和訳中心です
- ・ 派遣先は外資系ソフトウェアメーカーです

新進気鋭の翻訳者を探しています

**ABES (株)エイブス**  
<http://www.abes.co.jp/>

〒154-0012  
東京都世田谷区駒沢  
2-11-1 集花園ビル4F  
TEL:03-5431-6371  
FAX:03-5431-6372  
E-mail:hara@abes.co.jp

## コンピュータ、情報通信、特許の技術翻訳者を養成



### 『翻訳者のためのコンピュータ講座』

翻訳に必要なコンピュータ知識を効率的に習得

### 注目の 『特許英和演習』

新講座! 実際の英文特許明細書を和訳演習するコース

## エイブス ABES技術翻訳SCHOOL

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢2-11-3 第二集花園ビル3F  
TEL:03-5432-4466 FAX:03-5432-4467  
E-mail:school@abes-tt-schl.com

<http://www.abes-tt-schl.com/>をご覧ください!

## JTF 翻訳環境研究会報告

\*\*\*\*\*

平成 16 年度第 2 回 JTF 翻訳環境研究会  
平成 16 年 7 月 13 日 (火) 14:00 ~ 16:40

【開催場所】翻訳会館

【テーマ】能力向上：ネット検索で翻訳力を伸ばそう

【講師】安藤 進氏 (フリーの翻訳者、丸善刊『翻訳に役立つ Google 活用テクニック』ほかを上梓)

\*\*\*\*\*

IT 技術関連分野の表現について この 20 年を振り返る

富士通研究所で機械翻訳システムの研究開発にかかわり、(株)十印で翻訳部長を経験した安藤氏は、これまでの技術翻訳およびテクニカルライティングの歴史を振り返りながら、和訳・英訳の問題を紹介した。出席者が学んだのは、「見慣れない表現」をどのように解決するかへの答えこそ、「慣れ=多読」であることだ。そして、翻訳での語句の使い方や表現方法は、「慣れ=多読」で解決できるとし、40 億ページの用例辞典として活用できる Google の存在がこの点でいかに重要であるかを確認した。

とりあえず、Google に聞いてみよう

フルスペルのわからない略語、定訳のわからない表現など、翻訳プロセスにおいて、翻訳者はさまざまな問題にぶつかる。安藤氏のような経験豊富な翻訳者でも、毎回さまざまな分野からの翻訳依頼を受けるので、その状況は同じである。そのような実体験に基づき、安藤氏は「そのまま、フレーズ指定 (" ") で丸ごと検索す

る」ことを強調する。「Google を使えば、検索は 0.5 秒で問題を解決できる」という。例えば、ヒット件数をチェックすれば、すでに広く使用されている表現かを確認できる。通じる英語であるかのチェックも、ヒット件数の比較で検証できる。他の例を試して、ヒット件数で使用頻度を比較する。また、英単語と日本語単語を組み合わせ、ヒット件数の違いを検討する。さらには、「イメージ」をクリックして、文字でなく画像を見て大まかな全体像を把握することもできる。安藤氏によれば、翻訳者が技術者と違うのは、翻訳者は単語や略語がどのようなものなのか (NLP 出力の「NLP」とは装置なのか、製品なのか、人名なのか、など) その大きな区別がわかればよく、その程度の理解ができれば文脈を絞ることができ、適した訳語を選ぶことができるようになる」と説明した。

Google の日本サイトと米国サイト

Google の日本サイトと米国サイトを使い分けることで、さらに多種多様な機能を生かすことができる、という。Google 日本サイトでの日本語単語検索には日本語特有のフィルタがかかり、表記ゆれ (例えば、音引きを含むカタカナなど) を吸収したあいまい検索になる。この日本語フィルタを外すには、単語の先頭にプラス記号をつける必要がある。詳細は『Google に聞け! 英語の疑問を瞬時に解決』(p.111) を参照。

Google にあるさまざまな機能、その他、便利な検索サイト

安藤氏によれば、検索エンジン Google には、一般的な「検索」だけでなく、電卓機能、単位 (互換) 変換機能などは、翻訳者にとっては大変役に立つツールもある。また、「予想される検索キーワード」の表

示を使えば、原文のスペルミスの可能性も考慮して、翻訳に必要な情報を瞬時に得ることができる。また、情報が多すぎるという場合には、さまざまなコマンドを使って絞込検索を行えば、緻密で効率の良い検索を行うことができる。さらに、現在では Google 以外にも検索に便利なサイトも登場しているので、上手に使い分ければ、さらに詳細な検索も可能であるという。安藤氏の著書も参考にしながら、高度な検索テクニックを身につければ、翻訳での検索能力は飛躍的に上がるだけでなく、仕事全体の効率もよくなる。検索能力は、今後翻訳者にとって必須のスキルとなるに違いない。

報告者：玉置 祐子 個人翻訳者、日本通訳学会・翻訳理論研究会所属



## お待たせしました

トランスマートは翻訳会社様向けに新しいサービスを開始いたします。  
優秀な人的リソースの共有を目標にサービスを開始してから 3 年。  
翻訳文の一次品質がプロジェクト全体のコストを大きく左右するプロの現場にも自信を持ってご紹介できる優秀な翻訳者が集まりました。

<http://www.trans-mart.net/transagt/index.html>



トランスマート株式会社

株式会社ヒューコムは  
トランスマート株式会社  
に社名を変更しました。

〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-13-11 シブヤビル 2F

03-5363-0370

info@trans-mart.net



## JTF 西日本セミナー報告

今回のセミナーは、画期的でした。倉橋講師は、講演開始前にアンケートをとり、その質問に答えていきながら参加者も巻き込んで講演を進められました。メーカー、特許事務所、翻訳会社、翻訳者と参加された皆様から発言があり、業界情報が盛りだくさんの講演となりました。

倉橋講師は、特許事務所内翻訳者を経験後、独立して外注翻訳者となられ、現在は翻訳会社を設立されています。ご自身の経歴を紹介されながら、「どうやってクライアントを獲得していったのか」という、翻訳者ならではとも知りたいことをお話しくださいました。どれも明日からはじめられるような具体的な内容なのですが、聞くは易し、でもそれを思いつくことや、まして行動となるとなかなかできないことで、皆様かなり刺激を受けられたようでした。



多岐にわたる内容で、全てはお伝えできませんが、私が面白かったことを、ご紹介いたします。

よい翻訳者、翻訳とは？

端的にいえば、特許事務所や翻訳会社にとって都合のよい人。よい翻訳者とは、納期を守り、ミスが少なく、ミスをすなおに聞いてくれて、料金が安ければ更に良い。よい翻訳とは、原文に忠実で、よく調べていて、ヌケがない。ずいぶんご都合のいい話ですねというところですが、ただ、社会人として最低限のマナーもない翻訳者がある。少なくとも、一般常識的な電話応対はして下さい。

技術的バックグラウンドとは？

大学受験でも物理を選択しなかったので、電気関連の特許翻訳をするようになって、実は工業高校の物理化学の教科書と参考書で勉強しました。難しい専門書からはじめるより、基礎的で充実していて、お奨めです。

ちょっと面白い話なのですが、コンピュータ制御のパチンコ台の特許翻訳で、(男性でもパチンコの経験がない方がいらっちゃって)私は、学生のころ電動式のパチンコに通った経験があったので、「従来技術」のところがよく理解できて、「専門知識がありますね。」ということになったのですが、これも技術的バックグラウンドというのでしょうか？ つまり、日々の生活で習得していることもあるので、技術的バックグラウンドについては、それほど難しく考えなくてもいいかなと

思っています。特許は最先端の技術であるので、たとえ工学部で勉強していても、その知識は何年も前の知識であり、むしろ基礎をしっかりと勉強し、そして何より大切なことは、常に向上心をもっておくことです。

参加翻訳者から、「元の日本語原稿がひどいものがある」との発言があれば、メーカーの方は、「実のところ外国出願は高いので、コンセプトをできるだけひろくとり、日本の出願を3件ほどまとめていたりするので、翻訳者には訳しにくいものになっていると思います。主語がない文章になったり、特許事務所には外国出願用の日本語に直してもらったりもしています。」特許事務所の方は、「はっきり明快に書くことと、概念として広くとらえることは、相反することで矛盾がある。日本語と英語の構造的な違いもあり、日本出願の日本語をそのまま翻訳しても通じない。そこをどうするかが特許事務所のノウハウですが、これは企業秘密です。翻訳者の知識で歪められると、あとがやりにくいので、翻訳者にはそのまま訳してほしい。」翻訳会社の方は、「一度見直しをすればすぐに分かるミスやヌケがある。少なくとも1回は見直しをしてほしい、というのが切なる願いです。」といった本音トークが、飛び交う活気あふれた講演会でした。講演終了後も、皆様立ち去りがたいようで、講師を交えて、又参加者同士でと話はずんでおられたのが、とても印象的でした。

報告者： 磯野 由美子

(株) 翻訳センター企画室

スペシャリスト

人材を  
歓迎  
します。

## スペシャリストの希望に応える派遣会社です!

翻訳、通訳、ITの人材サービスで豊富な実績を誇る十印ヒューマンフロンティア。私たちは、優れた才能を持つ皆様に、もっとイキイキと活躍する機会を提供します。そのために人材本位の考えを貫き、ご希望の職務内容や、個々の適性を十分に考慮した職場を紹介。さらなるスキルアップのための支援にも力を注いでいます。英語をはじめ多言語に関心を持つ翻訳者や、さまざまなキャリアを持つテクニカルライタなど、専門分野で活躍したいと考える皆様を、幅広くお待ちしております。

■派遣スタッフ ■翻訳者 ■通訳 ■テクニカルライタ ■プロジェクトマネージャ ■バイリンガルセクレタリ

■登録スタッフも随時募集中 [www.toin-hf.com](http://www.toin-hf.com)

一般労働者派遣業(般13-040647) / 有料職業紹介業(13-04-ユ-0518)

**TOIN**  
HumanFrontier

株式会社 十印ヒューマンフロンティア  
〒105-0014 東京都港区芝1-12-8 第20印ビル

Phone:03-3455-8861 / Fax:03-3455-8863  
e-mail:info-global@toin-hf.com

## 翻訳支援ツール委員会 支援ツール説明会報告

\*\*\*\*\*

平成 16 年度第 1 回支援ツール説明会

平成 16 年 7 月 15 日 (木) 14:00 ~ 16:00

【開催場所】(株)知財翻訳研究所

【テーマ】TransAssist

【講師】岡野 信之氏((株)インターメディア  
代表取締役)

【進行】村田 喜四郎氏(インターメディア)

【技術解説】山田 政彦氏(同上)

\*\*\*\*\*

### インターメディア

(株)インターメディアは1986年に設立され翻訳業務を中心に業績を伸ばしてきた企業である。2年前からフリーランス翻訳者ライアン・ジンストローム氏が開発した翻訳メモリ(TM)を使用するツール(CATツール)を、相互の協力のもとに製品化を目指してきた。

TRADOSとのデータ互換性を持たせ、さらに機能アップしてTransAssist Ver. 1.0を今年の5月に発売された。

公の場で公開するのは、この説明会が最初である。

翻訳の実務から生まれた翻訳支援ツールTransAssistの特徴

税込み39,900円とCATツールとしては非常に安価で、XML形式翻訳データベースなのでソフト自体が軽く、処理速度は非常に速いという特徴がある。

従って、従来のCATツールの処理速度はパソコン自体の性能に依存する傾向にあったが、TransAssistはロースペックのパソコンでも快適に動作する。

また、例えばTRADOSの場合は翻訳管理機能があるので、ソフトの構造が複雑になり、操作も煩雑になる。TransAssistは翻訳会社の視点を加えたツールなので、煩わしい

操作に悩まされることなく翻訳作業に集中し、ツールの利点・利便を享受しながら効率化が図れるとのこと。

TMのデータ保存形式によっては、データ量が大きくなるので、TM全部を参照しようとすると動作が遅くなったり、パソコンがフリーズしたりすることがある。その場合、TMを切り分けているが、TransAssistが採用しているXML形式はテキストファイルなので、データ量が大きくても支障はない。

### 簡単な操作

TransAssistは、インストールすると自動的にWordやExcelのメニューバーに追加されるTransAssistをクリックして、表示されるプルダウンメニューを使って簡単に操作できる。それぞれの機能にはショートカットキーが割り当てられているので、慣れればキーボード上でほとんどの操作ができる。

TRADOSはバイリンガル形式であるが、TransAssistは原稿に直接上書き翻訳するから、日本語として不自然な繰り返し文になりがちな箇所も適切に訳せる。訳した後も原文はメニューから簡単に呼び出せる。

TRADOSのTMをインポート/エクスポートTRADOSで作成されたTMをインポートすることができ、TransAssistで作成したTMをTRADOS用にエクスポートすることができる。

TransAssistを使って翻訳すると、TMは自動的に作成される。

### 用語集

TMとは別に、クライアントから支給された用語集や、翻訳者が作成した用語集はExcel形式であれば一括登録することが可能で、グロスリウインドウに表示できる。

しかも、1対1ではなく1対複数の訳語が列挙される。

翻訳作業中にグロスリファイルに登録することも可能である。

### タグ付ファイルの翻訳

同梱されているTagAssistを使用すれば、

タグの知識無しでもHTMLなどタグ付文書をきれいに翻訳できる。

### TransAssistの役割

TRADOSとの競合は考えておらず、翻訳者が使い易いツールとして開発したものである。TRADOSは訳文管理の観点からクライアントの要請で使うケースが多いようだが、TransAssistはTRADOSとの競合より、TMを使う翻訳者を広げていく方向を考えている。

### 翻訳者の要望を製品に反映

TransAssistの体験版をダウンロードするとユーザーIDが発行され、サポートページにアクセスすることができる。ここで改善点を販売元と情報交換し、インターメディアはその情報をもとに更に使いやすいツールに改善する。

バージョンが変わったときはアップグレード料が必要になるが、現行バージョンに追加される機能は無償提供を考えている。

### TransAssistの使用環境

Windows98、Windows Me、WindowsNT、Windows 2000、Windows XP

メモリ(RAM): 64MB(128MB推奨)

Microsoft Office連携: Office 97以降

### TransAssistの入手法

TransAssistはダウンロード販売のみで、最初に無料体験版を以下のURLからダウンロードしてテスト可能(容量約5MB)。

<http://www.transassist.com/>

問い合わせ: [info@transassist.com](mailto:info@transassist.com)

### 次回の説明会

JTF翻訳支援ツール委員会は、次回の説明会は9月に東芝ソリューション株式会社にお問い合わせする予定。

報告者: 久徳 省三 JTF翻訳支援ツール委員会委員長

## 翻訳に関わる人のためのメールマガジン

# Tra-maga

Translation Mail Magazine

翻訳の専門校フェロー・アカデミーが、月2回配信するメールマガジン「Tra-maga」。翻訳業界で活躍する方々へのインタビューや、フェローの受講生・講師の翻訳作品紹介、プレゼントなど、毎回盛りだくさんの内容をお届けします。登録はフェロー・アカデミーのホームページから。

登録は無料!

<http://www.fellow-academy.com>

1975年創立 翻訳の専門校

## フェロー・アカデミー

お問い合わせはフリーダイヤルかE-mailで

E-mail: [info@fellow-academy.com](mailto:info@fellow-academy.com)

〒107-8520 東京都港区赤坂 8-5-6 翻訳会館(地下鉄「青山一丁目」駅より徒歩3分)



0120-024240

[受付時間: 平日9~21時 / 土曜9~17時]



## EXPO2005 愛知万博 法人会員のご賛同とご協力をお願い

JTF EXPO 委員会委員長 河村 敏

(社)日本翻訳連盟(JTF)は、小泉内閣が掲げる2010年『観光立国日本』の趣旨に賛同し、世界各国の団体・企業が参加して開催される「EXPO2005 愛知万博」において、経済産業省と協議しながら、翻訳サービスの提供に協力いたします。国内関連機関および海外参加国に対する翻訳サービス紹介・協力関係構築を通じて、今後の我が国の翻訳産業の発展に寄与したいと考えています。この協力活動を実施するにあたり、特に JTF 法人会員のご賛同とご協力をお願いする次第です。

JTF が行う主要活動は以下の通りです。

(1) 法人会員の紹介

海外からの愛知万博参加団体に JTF 法人会員を紹介する。

(2) 発注情報の提供

愛知万博参加団体から JTF への見積り依頼に基づく発注情報を各法人会員へ報告し、受注の円滑化を支援する。

具体的には、「EXPO2005 愛知万博」に参加する 125 カ国、8 団体、およびその他関係団体など、合計約 200 の組織に対して

2004 年 9 月上旬に紹介パンフレットなどを送付・配布する予定です。

クライアントから JTF 事務局へ見積依頼書が届いた場合には、ご賛同いただいた法人会員へ Eメールにて依頼内容をお知らせします。また、紹介パンフレットには法人会員の連絡先を掲載致しますので、クライアントが直接法人会員と交渉することも可能です。

JTF は法人会員の紹介のみ行います。クライアントからの発注状況については、最適かつ公正に法人会員に報告しますが、JTF は価格、納期等の契約内容に関しては一切関与できません。受付期間は愛知万博開催準備期間から終了(2005 年 9 月 25 日)までとし、翻訳の対象は愛知万博に関連するものに限定致します。

対象言語は、原則として英語、中国語、韓国語、仏語および西語とし、これ以外の言語による翻訳業務の受注は各社が任意で行うこととします。

JTF は、この活動を推進するにあたって、名古屋に本部を置く(財)2005年日本国際博覧会協会等の関係団体と協力致します。お問合せは事務局までご連絡下さい。

さる7月29日、経済産業省商務情報政策局サービス産業課大野担当官および、河村理事委員長を中心とする JTF の EXPO 委員が、名古屋にある愛知万博協会本部を訪問した。「観光立国日本」に向けて JTF が業界団体として愛知万博へ参加協力する旨を説明し、協会側からは、9 月以降に参加国団体がパビリオンの引渡しする際に行われる説明会などで JTF のパンフレットを配布できるよう検討するとの回答をいただいた。さらに、愛知県、名古屋などの市町村、観光協会をはじめとする関係団へ活動を展開することに対しても共感を得た。

(財)2005 年日本国際博覧会協会  
事業企画本部  
市民参加促進グループ担当の方々



河村敏 JTF EXPO 委員長 (JTF 理事)  
経済産業省商務情報政策局サービス産業課  
大野高志担当官  
東郁男委員 (JTF 常務理事)

## 特許翻訳講座

特許翻訳の分野で業界をリードしてきた「株式会社知財翻訳研究所」が主催する講座です。創立以来の実績と経験に基づく実務と直結した高密度な内容で、特許翻訳入門として、好評を得ております。

**講師** 浜口 宗武 (知財翻訳研究所 社長)  
**受講料** 31,500 円 (1名・消費税・テキスト代込)  
\* JTF 会員の方はお一人様3万円で参加できます

**会場お申込** (株)知財翻訳研究所 知財アカデミー事務局 (担当・平田)  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-1-7 コスモ新宿御苑ビル  
TEL03-3225-1931 FAX03-3225-1933 e-mail academy@chizai.co.jp

**【日程】**  
2004年10月9日から30日までの4連続土曜日

**【時間】**  
13:30-16:30

**【内容】**  
特許プロセスと特許書類の種類 特許翻訳の特殊性  
特許明細書の構成、翻訳  
英文/和文明細書に出てくる特殊な用語や表現  
海外特許明細書に関する最近の実務、クレーム翻訳の仕方、  
オフィスアクション、意見書、補正書など その他

**【定員】**40名(原則先着順)

セミナー  
ご案内



● 詳細は  
**株式会社知財翻訳研究所**  
[www.chizai.co.jp](http://www.chizai.co.jp)

## 移動が大変 ロシアでひとり

JTF 理事、(株)ランゲージ・ドキュメンテーション・サービス代表取締役 星田 和恵

ロシアのサンクトペテルブルグで6月に開かれる催しものに出ることになったとき、どういうルートで行くか迷い、日本の航空会社に問い合わせた。いろいろ調べていると、どうもパリ、ロンドンなど欧州の都市から乗り継ぐ方がスムーズに行くような気がした。しかしそこで、「お客様、成田 モスクワ間の方が距離的に短くなっております。料金的にもお得です。」と逆らえない一言が飛んできた。やむなくモスクワのシェレメチェヴォ空港に午後3時50分に到着し、同日午後5時50分発のサンクトペテルブルグ行きに乗り継ぐことになってしまった。しかもチェックインの際、「お客様、よろしいですか。国際線から国内便に乗り換えていただくわけですから、荷物を必ずとって国内線の空港に移動してください。」と言われて愕然とした。大きな荷物を持って、いろいろややこしそうな国の空港間を短時間で移動して乗り継ぐのはかなりたいへんだ。ヨーロッパ経由にすればよかったと、一挙に後悔が押し寄せてくる。

それでも何とか気を取り直して着席。いざ出発。機内では、面白い映画をやっていたのでつい見てしまう。思えばこの時間を利用して、「地球の歩き方」388ページ「入国と出国」を読んでおくべきだった。入国カードに関しては、ちらっと頭をかすめたが、復路のロンドンの入国カードは既に渡されていることから、必要であれば入れているだろうと勝手に解釈していた。しかもビザには、入国カードと日本語で書いてあり、入国カードを兼ねているように見える。搭乗員にモスクワの

シェレメチェヴォ空港について尋ねると、「この飛行機は、モスクワまでのお客様を降ろしてからすぐローマへ向かいます。従いまして私たちも搭乗員もモスクワで降りたことは無いのです。」そうかそれでこんなに観光、ショッピングが目的らしい壮年の女性客が多いのか。

結局モスクワで降りた人は数えるほどで、入国管理の窓口には並ぶのも早かった。しかし私の3人前にいた背広姿の日本人が、何か書類が足りないらしく後ろへ戻れ、と言われている。戻ってくるのを途中でつかまえて聞くと、「入国カードが無い」と言われたとのこと。やっぱり入国カードはいるんだ、と改めて納得。他の機からの乗客で混み始めた列の先頭から10番目を泣く泣く離脱。用紙が置いてあるというカウンターに行くと、今度は用紙が切れている。通りかかる制服を着た係官の誰に聞いても、「自分は担当じゃない」と肩をすくめる。結局用紙が到着するまで25分かかった。記入して列に並び直しやっと入国管理を抜けたとき、離陸まで40分を切っていた。ロシアの場合、宿泊場所はビザ申請時に招待状などと一緒に提出する。急に予定が変わったからと、空港のホテルに行き泊めてもらうことはできない可能性がある。乗り遅れると空港で一夜を明かすことになるかもしれない。

スーツケースを取りに走り、他の到着便のところも探し回ってなんとか見つけた。あと25分。次はシェレメチェヴォII国際空港から、サンクトペテルブルグ行きが出るシェレメチェヴォ国際空港Iへ

の移動。817番のバスがあるはず。でも間に合うだろうか。と心を見透かすように、茶色のジャケットを着た恰幅も愛想も良い男性が、「タクシー要らない」と声をかけてくる。「要らない、バスがあるでしょ。」と言うと、「でも1時間で1本よ。間に合うの？」うーん。空港の中にある「TAXI」と書いてあるカウンターの方へ連れて行かれた。値段を聞くと50USドル。迷うが、飛行機に乗り継げなかった場合の面倒さを考えると選択肢はあまり無い。でカウンターでお金を払ってそのタクシーに乗る。国際空港IIとIの位置関係がわからないので、このルートが正しいのかどうかも定かでなく、このまま殺されて金品を奪われても不思議ではない気がして、そっと運転手の方を窺う。先ほどの客キャッチの男性とは違って、実直そう。それでも西日が当たる車の中で不安と格闘していた。無事にタクシーを降りて国際空港Iに入ろうとすると、長蛇の列。人ごみをより分けて進んでいくと、玄関を入れてすぐのところに置いてある機械で荷物検査をしている。私もそこで列に入れてもらい、荷物を機械に通す。離陸まで10分。割とこじんまりした空港だが、とにかく英語の表示が見当たらない。あたりにいる人に聞いても英語はまったく通じない。仕切りの向こうは出発ゲートらしい。よく見るとかろうじて手前の一箇所が開いている。仕切りの向こう側に座っている女性に尋ねる。離陸まであと5分。すると向こう側のカウンターを閉めようとしていた男性が、「あなた急いだ方がいい」とこれは英語で私に怒鳴った。乗

サン・フレアグループでは、翻訳学習から翻訳実務まであなたをサポートいたします。

《特許/ローカライズ/医・薬》Pre-OJT 受講申込受付中!

所定のトライアル  
合格者

翻訳者養成  
Pre-OJT

プロ養成  
OJT

特許翻訳者募集中!  
翻訳会社(株)サン・フレア  
TEL: 03-3355-1168  
www.sunflare.com/recruit/

翻訳会社(株)サン・フレア  
オンサイト翻訳者  
在宅翻訳者/エディタ

★ 2004年 9月～11月 翻訳セミナー ★ in東京

- 9月11日(土) 10:00～15:00 (昼休1h) in東京  
★「ぜったい!!モノにする - 医学・薬学」翻訳セミナー  
講師: 吉丸 由美子 先生 (13,000円税込)
- 10月16日(土) 10:00～16:00 (昼休1h) in東京  
★翻訳者のための「遺伝子・タンパク質分析実習」セミナー  
講師: 岩崎 説雄 先生 (16,000円税込)
- 11月20日(土) 10:00～15:00 (昼休1h) in東京  
★「特許明細書」翻訳セミナー ～クレームを訳す～  
講師: 荻野 克美 先生 (13,000円税込)

サン・フレアアカデミー TEL: 03-3355-2678  
www.sunflare.com/academy/ 東京都新宿区四谷4-7 新宿ヒロセビル2F

〈講師募集〉産業翻訳講座の通学科  
講師、または添削・教材作成などに  
あなたの経験を活かしてみませんか?



客リストに名前があったので、すぐわかったのだろう。荷物をチェックインして、サンクトペテルブルグ行きの座席に座ったときの気持ちは、言葉に尽くしがたい。

ほぼ定刻どおりに、サンクトペテルブルグのプールコヴォ空港に到着。もう乗り継ぎは無いので、手荷物を回収する前に両替しようと気をつけて見ていくがそれらしいところは無い。見落としか、別の建物にあるかだ。手荷物回収室の手前でATM状の機械を見つける。たむろしているタクシーの運転手をかき分けキャッシュカードを入れてみる。むーだめだ。2回トライしたが引き出せない。あきらめて手荷物の回収部屋に入る。どうしようルーブルが無い。ここで名案がひらめいた。次の日からイベントは始まるから、今日この便でモスクワから飛んできた人はいるはずだ。ロシア人とは違う風体の、外人を探せ。いましたね私と似ているが、ちょっと違う顔立ちの男性が。「あの一、ひょっとしてプールコフスカヤ・ホテルで開かれるフォーラムに参加される方ですか?」「はい、そうですが。」ここからはスムーズに話が運び、ホテルまでタクシーに同乗させてもらえることになった。しかもモスクワでしっかり両替してきて、ルーブルも持っているという。やったあー。彼は北京にある米系コンピューターメーカーの人であった。乗るときに運転手と料金の交渉をしないので、いいのかなーと思ったがその日はエネルギーを使い果たしていたので、恩知らずにも私は黙っていた。ホテルに着いて、運転手に1000ルーブル(約3,700円)と告げられ、さすがに彼は絶句していて申し訳なく思ったが。

ホテル内やイベント会場では英語ですべてが進み、懸念だったインターネッ

トもホテルが提供していてしかも安かった。私も順調に目的を果たして、いよいよロンドンへ出発という日がやってきた。念のため朝食後フロントへ行って、「午後2時5分の飛行機に間に合うように空港に行きたいのですが、タクシーは予約しなくていいのですか?」「しなくていいです。たくさんいますから。」そう、確かにホテルの表玄関のあたりにいつも止まっている。10時半に最後の打ち合わせをして荷造り、12時には支払いを済ませて表玄関に立っていた。たいていタクシーが3,4台たむろっている場所を見る。えっ、一台もない。5分ほど待ったが現れない。玄関脇の荷物室に飛んでいき、係りの若い男性に尋ねる。一緒に表玄関に出てくれたが、英語が苦手らしく3分経とうかという頃「You must speak to the driver.」と言う。それはわかっている、でもその前にspeak toするドライヴァーはどう探すの?彼はあらぬ方向を指差す。うーん、わからない。とりあえずお礼を言って、あたりを見回すとホテルと中心街を2時間おきに繋ぐシャトルバスが運転手ごといる。前日会議を抜け出してネフスキー大通りまで行った時は、もっと年配の運転手さんで英語は全く解さなかった。でも今度の人はかなり若い。近付いて行って、「タクシーはどこでつかまえるのですか?」と尋ねると、先ほどの荷物係の男性と同じ方向を指差しながら、「あそこにバス停があって、そのちょっと向こうに白い車が止っているでしょ?あれがタクシー。」確かに白いポンコツ車が止っている。TAXIの表示は上に載っていない。お礼を言って、道路2本越して白い車にたどり着き、60代と思しき運転手に話し掛ける。まったく英語は解さない。これは予想していた。メモ用紙に運賃を書いてもらう。「300」ええっー3万円。私が来たときの金

額を考えながら「40」と書くと、全然話にならないと肩をすくめるだけ。しかし300USドルなんて法外で払えない。断って道路をまた2本越えて戻る途中ふと、「ルーブルで言っているのかもしれない」と思いつく。念のため先ほどのシャトルバスの運転手に、「300と言われた。ドルだととんでもない料金だが、ひょっとしてこれはルーブルで言っているのか?」と尋ねる。「そう、彼はルーブルで言っている。」ルーブルなら1,110円だ。確かプールコヴォ空港からホテルまでもルーブルで払っている。私は取って返し、ルーブルはもう小銭でしか持っていなかったので、「同じ額をUSドルで払うことでいいか」と確認した。スーツケースを取ってきて車に乗り込むと、車内は掃除をしたことが無いのではないかというほど、いろいろなものが散乱している。でも、そこそこ現地の人値段と「白タク」というものを初めて体験できて、面白かった。その後は、いつもどおり玄関でのセキュリティー・チェックを抜け、パスポートを穴の開くほど調べられ、やっとチェックイン。英国航空の座席に座ったときは、ほんとうにほんとうにほっとした。

でロシアを嫌いになったかということ、そんなことは全然無い。今回は一人だったのでいろいろ余計に大変だったが、もう一人いれば平気。なんと言ってもサンクトペテルブルグは魅力的な町で、ロシアの人も普通はとても大らかで話していて気持ちが良い。もう少し旅行制限が撤廃されたら、またぜひ行きたい。

## High quality

## New standards in translation

## Prompt service

取扱言語 英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・中国語・韓国語 等(その他言語にも対応しております)  
 取扱分野 特許・工業・医薬・金融  
 取扱内容 翻訳・メディカルライティング・ネイティブチェック・通訳・印刷・テープ起こし 等



**HONYAKU**  
**CENTER**  
 New Standards in Translation

since 1986  
 株式会社翻訳センター

大阪営業部 〒541-0046 大阪市中央区平野町2-5-8 平野町センチュリービル9F tel:06-6202-3287 fax:06-6204-0608 osaka-g@honyakuctr.co.jp  
 東京営業部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-10 虎ノ門15森ビル3F tel:03-3502-1921 fax:03-3502-3521 tra-g@honyakuctr.co.jp  
 日本橋営業部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-2-13 アドバンテック日本橋ビル1F tel:03-3242-3831 fax:03-3242-3835 nbo@honyakuctr.co.jp  
 名古屋営業部 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-12-12 竹生ビル2F tel:052-571-2101 fax:052-571-2103 nagoya@honyakuctr.co.jp

翻訳者を募集しております。

[www.honyakuctr.com](http://www.honyakuctr.com)

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



## ローカライズとチームワーク

個人翻訳者、ローカリゼーションスペシャリスト 上條 博之

ローカリゼーションのプロジェクト、あるいはオンサイトの仕事で、翻訳者が「チーム」や「グループ」を組む。いまだき珍しい話ではない。

社内で馴染みのチームから、人材派遣やフリーランサーを寄せ集めた、「傭兵部隊」と言っているチームまで、さまざまだと思う。

### チームの成り立ちと目的

ここ数年ならば、翻訳支援ツールを使って、ネットワーク経由で用語や訳文(翻訳メモリ)を共有することも可能だ。セキュリティや帯域が十分に確保できるようになれば、チームをオンサイトに集めなくとも済むのではなからうか。

しかし現状はさまざまである。翻訳チームの前後の工程に執筆チームや制作チームが控えている場合などは、各チームが大規模であるほど、お互いに顔を見て仕事をすることが大切だとも言える。

体制が決まれば、翻訳チームの目的自体は単純なのかも知れない。既定の翻訳規約に沿って、用語も一貫した均質な訳文を、所定の分量で納品し続けられればよい。しかし実際には、そう簡単に済む話ばかりではないようだ。

### チームメンバーの要件

翻訳チームのメンバーは、それなりの理由や基準に従って選ばれるものだと思う。しかし、そうしたメンバー同士でも、翻訳の技量や知識、仕事の方法などは異なるものである。

プロジェクトが始まったばかりの頃には、新しく覚えなければならぬ事項が必ずある。「適応力が試される場」と言えるが、付け焼き刃ではどうにもならない事項も多い。特に、作業に使用するソフトウェアやハードウェアに関する知識や技術を持ち合わせていない場合、手っ取り早く対応するには他者に

頼ることになる。

だからこそ、翻訳支援ツールの使い方など、自らの仕事環境に関する知識は、いわゆる「素養」として、語学力と同様に普段から意識して習得すべきだろう。もちろん、こうした知識や技術があれば、翻訳以外の点でチームに貢献することもできる。ときには、翻訳の巧拙よりも、こうしたツールを正しく使えるかどうかの方が、プロジェクトの進捗に大きく影響する。

近年は、翻訳メモリで訳文を共有して表記や表現の統一をはかり、文書ファイル内にはタグを組み込んで、DTPなどに利用するといった方式が普通になっている。表記規則を守っていないか、タグ類を削除してしまっている訳文があると、それを修正および消去したり、崩れてしまったページレイアウトを直していくといった、追加作業が生じてしまうのである。こうした状況をプロジェクトの初期段階で解消するために、メンバー同士で協力した方がよいと思う。

### チームワークとコスト

よく口にされながら実践は少なく、現場で気が付いても言いにくいのが、チーム運営方式のドキュメント化である。小さなチームでは、作業方式が担当者の裁量に委ねられるケースも多い。日々の作業を側で見ていれば、暗黙のうちに理解していることがあるだろう。しかし、チームが常に安定しているとは限らない。担当者が突然変わり、引き継ぎに手間取ったという話を聞くこともある。

たとえば、他の人が担当していた作業のファイルをいきなり見せられたとしても、その意図を即座に理解するのは難しいと思う。具体的な手順をまとめた作業マニュアルがないと、引き継ぎに伴う追加作業に、時間とコストがかかるのである。

また、プロジェクトに関わる全員を一つのチームとしてとらえると、プロジェクトのコストに対してより直接に、かつ大きく影響するのが、管理側の意識である。

ローカライズのプロジェクトは、客先から案件を受注して、翻訳者を集めて送り込めばそれで仕事が済む。というほど簡単な話ではない。当たり前原則である。しかし、これが実際の行動に反映されないケースもあるようだ。事実、いざプロジェクトが動き出したら、現場からの報告への対処が遅くなったという例を耳にする。

何らかの懸念事項があっても、早めに対処を済ませていけば、無事に収まるはずである。しかし、本来ならばプロジェクトの準備段階に必要な事務処理を先送りしていたばかりに、非常に切迫した状況を招いて、多大な追加出費を強いられたという事例すら、現実にはあるという。

### 「標準」の必要性

さらに、客先で仕事の進め方のすり合わせに苦労することもあるという。ところ変われば品変わる、ではないが、共通の目標に力を合わせるべきところで、方法論の違いから軋轢(あつれき)が生じて仕事の効率が下がるのは、もったいない。

ローカライズプロジェクトでのビジネスプロセスや作業方式に関する標準、あるいは共通認識が普及していれば、と感じさせられる。プロジェクトの進め方といった大枠から、用語集の作り方などについて、どこでもローカライズプロジェクトの打ち合わせのベースになるような、業界標準があってもいいと思う。

そうした標準を共有することで、プロジェクトチームのメンバー同士の共通認識も得やすくなるのではなからうか。

■ TRADOS  
THE LANGUAGE ARCHITECTS

さらに性能アップ Ver 6.5.5 リリース

お問い合わせは [info-jp@trados.com](mailto:info-jp@trados.com) まで

トラドス・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 5-5-13 電話:03-3568-7072 FAX:03-3568-7073

## Books & Tools データのバックアップ

JTF 理事 井口 耕二

今月は、データのバックアップについて検討してみましょう。

### 完璧なバックアップ方法

手軽でコストもかからず、何かあったときにはさっと完璧なデータを復元できる……そんなバックアップ方法ばありません。バックアップデータは元データが壊れたときに利用するものですが、元データ側とほぼ同時にバックアップ側が壊れることもあり得ます。二重では不足と三重、四重にデータをコピーすれば、それだけデータが復元できる可能性は高くなりますが、手間も費用もかかりますし、三重、四重でさえデータが同時に失われる危険性がゼロになることもありません。

追求しても完璧にはならないのだから、適当なところで妥協するのが現実的でしょう。

### バックアップメディア

個人レベルでもバックアップに使えるメディアは、MOにCD-R、DVD、HD(ハードディスク)などがあります。メディアごとに、特徴をざっと見てみましょう。

#### MO

くり返し使えますが、既製PCにふつうはドライブが搭載されていないなど、汎用性の面で問題があります。PCが壊れたとき、MOが読めるPCが見つけられなければ、せっかくバックアップしたデータも読み出せません。

#### CD-R

利点は、ほとんどのPCで読めること。欠点は、容量が小さく複数枚に分割バックアップするため面倒であること、書きこみに時間がかかることなどがあります。データの受け渡しには便利ですが、バックアップに最適とは言いがたいでしょう。

#### DVD

CD-Rよりも容量が大きいこと、ドライブ

が搭載されているPCがMOよりはるかに多いことなど、それなりの利点があります。ただ、何年分ものデータをバックアップしようとすると、容量が不足することがあります。また、書きこみに時間がかかります。

#### HD

壊れやすいといわれるハードディスクですが、同時に2台が壊れる可能性は1台が壊れる可能性より低いので、バックアップにも使われます。安全性が少し落ちるかわり、容量が大きく、速度も速いとなかなか便利な方法です。私はHDでバックアップをしています。

ポイントは、必ず複数のHDを使うこと。同じHD内でのコピーは、HD自体が壊れたらバックアップも一緒にだめになります。デスクトップPCにHDを増設し、新旧のHD間でバックアップするのもあまりよくありません。HD以外のところが壊れたとき、PCからHDを取り出し、他のPCにつなぐという手間がかかります。しかも、OSが異なるPCにつなぐとデータが読み出せないこともあります(Windows XPからWindows 98につなぎかえた場合など)。

現実的なのは、複数PC間でのバックアップです。PCを買い換えるとき、古いPCを残して新しいPCとLANで結び、古いPCへバックアップします。古いPCを他の用途に使うなら、仕事用PCとの間で相互にデータをバックアップします。どちらかのPCが壊れても、もう一台にデータが残っているというわけです。

ネットワーク接続(NAS)やUSB接続のHDを使う方法もあります。仕事用PCが壊れたとき、NASならそのまま他のPCからアクセスできますし、USBでも他のPCにつなぎかえるだけでデータが読み出せます。

### バックアップソフト

バックアップのソフトは、パッケージソフトからシェアウェア、フリーウェアといろいろなものが出回っています。Vector(<http://www.vector.co.jp/>)などで探してみるといいでしょう。

選ぶときのポイントは、世代管理ができるものにするか、シンプルな同期(ミラーリング)のみのものにするか、でしょう。

世代管理可能なソフトなら、古いファイルも残るので、間違って書き換えた場合に古いファイルに戻って作業をすることができます。そのかわり、バックアップに必要な容量がどんどん大きくなっていきます。

同期のみのシンプルなソフトでは、最後に行ったバックアップのときのファイルが残るだけで、古いファイルに戻ることはできません。間違って削除したあと、バックアップを行うと、バックアップ側も削除されてしまいます。そのかわり、バックアップに必要な容量は本来のデータ量と同じです。

### さらなるバックアップ

PC間でバックアップしたりCD-Rなどにバックアップしても、家が火事になったりしたら……一度にデータがなくなります。そういうケースへの備えとして、毎日、仕事の最後に、仕掛かりファイルを添付メールで自分に送っておくという人もいます。PCが全滅しても、すぐに必要なファイルはプロバイダのメールサーバに残っているというわけです。

ウェブディスクの活用も考えられます。利用形態は、有償/無償、専用ソフト/ブラウザ可といろいろです。バックアップ用途ならブラウザ可のサービスがいいでしょう。いよいよになったら、友人のパソコンを借りてダウンロードするという荒技も使えますから。



# We Can

## ソフトウェアエンジニアリング株式会社

Software Engineering Co., Ltd. (SEC)

〒153-0061 東京都目黒区中目黒四丁目6番1号 大和中目黒ビル5階  
TEL: 03-3716-6311 FAX: 03-3716-6340  
翻訳者・執筆等ドキュメンター応募専用フリーダイヤル  
0120-086-644

**【業務内容】**

- ・企画・評価・翻訳・執筆・編集・版下作成・印刷
- ・オンラインマニュアル・ビジュアルソフト開発

— 高付加価値を持つドキュメントの提供を指向する —

## 法人会員プロフィール

### 株式会社 ユニコー

(本社 翻訳部)

〒243-8510

神奈川県厚木市恩名1370番地

TEL: 046-225-8093

FAX: 046-225-8094

E-mail: toshio\_ohya@unc.hitachi-unisia.co.jp

(群馬 翻訳部)

〒372-0023

群馬県伊勢崎市粕川町1671-1

TEL: 0270-26-7300

FAX: 0270-22-2563

株式会社ユニコー翻訳部は、自動車の機能部品・電子部品の大手製造メーカーである日立ユニシアオートモティブ(旧ユニシアジェックス)の100%子会社として1998年2月2日に旧社名(株)ユニシアエクレートとして創立、営業を開始しました。その後、2003年1月31日に日立ユニシアの100%子会社(株)ユニコーに統合され、神奈川県厚木市の日立ユニシア敷地内に本社翻訳部をおき、日立ユニシア群馬地区に群馬事務所をおいて、2拠点で営業を行っております。

ユニコー翻訳部は、旧ユニシアエクレート(旧ユニシアジェックス社内で、翻訳を専門に行っていたグループを核にして分社化した会社)の事業を発展的に継承した事業部で、特に自動車関係の翻訳を強みとしており、翻訳/通訳を核に、実務英語教育、人材派遣の3事業を柱として活動しております。また、日立ユニシア以

外にも多くのお客様から受注をいただいております。

当社は、高品質の翻訳を保証するため、翻訳者自らのチェック、ネイティブの外国人によるチェック、さらに日立ユニシアおよび自動車メーカーの実務経験を持つ語学堪能なスタッフが最終チェックを行う、3段階チェックによる品質確保をモットーとしております。

翻訳品質は、翻訳者の総合力で決まると考えております。この翻訳者の総合力とは、語学が出来るのは勿論、ご依頼文書の理解力、技術・ビジネスの理解力、文章での表現力、これらのベースであるグローバルな常識、良識などの総合的な結果と考えています。当社の翻訳者は、社内メンバーも、登録の方も企業(日立ユニシア・自動車メーカー)の実務経験者からなっており、総合力に加えて実務経験をベースとした非常に品質の高い翻訳を行っています。

翻訳ソフトに関しては、翻訳の主体が多種多様な翻訳もの(各種基準書、仕様書、契約書等)の一品料理的なパターンが多い関係で、翻訳ソフトを活用した機械翻訳が出来ないという悩みを抱えております。お客様の廉価翻訳要求やスピーディーな翻訳要求に応えるためにも、是非活用したく皆さんのアドバイスを頂きたいと思っております。

次に、通訳分野ですが、翻訳の様な3ステップチェックでお客様の要求レベルに持って行くことは許されない、GoodかNo Goodの一発勝負の仕事で、程々の通訳では継続して仕事を頂くことは不可能です。経験豊富な社内通訳者と実力の分かった

登録通訳者を軸に翻訳とセットで営業活動を推進しております。

続いて、実務英語教育事業ですが、日立ユニシア社員の語学力を総合的に高める各種教育を、豊富なビジネス経験を基に社内で企画し、研修は外部講師に委託する形で運営しています。そして、語学レベルの評価試験(TOEIC)も翻訳部で受託・運営しております。また、このノウハウを基に、語学対応力強化を必要としている日立ユニシア関連子会社向けの教育にも取り組んでおり、将来的には、企業の語学教育ニーズに即した教育研修プログラムを設け、事業の柱の1つに育てたいと考えております。

また、人材派遣事業については、翻訳・通訳事業の延長線上の位置付けとし、語学力と実務経験を生かした派遣を希望される登録者の方たちによる、語学指向の人材派遣サービスを行っております。

ユニコー翻訳部では、翻訳/通訳・実務英語教育・人材派遣サービスにおいて「質」を追求し、お客様の満足と納得のいただける総合的なサービスを提供してまいります。

今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い致します。

### 株式会社 ユニコー

翻訳部

〒243-8510 神奈川県厚木市恩名1370番地 日立ユニシア別館 A 2F

TEL: 046-225-8093 FAX: 046-225-8094 E-mail: toshio\_ohya@unc.hitachi-unisia.co.jp

#### 募集スタッフ

登録翻訳・通訳者(言語: 英語、仏語、中国語他、分野: 自動車、機械、電気、コンピュータ他)

#### 応募方法

ご応募は、業務、言語、分野、等を明記の上、履歴書、翻訳・通訳経歴書を郵送してください。追ってご連絡します。尚、お送り頂いた履歴書等はお返しいたしかねますのでご了承ください。